エコアクション　２１

環境経営活動レポート

活動期間
２０２１年３月２１日～２０２２年３月２０日

EMIYAホールディングス

（旧　株式会社エミヤ）

２０２２年６月２０日

目　　次

１．環境経営方針　1
２．事業活動の概要　2
３．実施体制　3
４．中期環境経営目標　4
５．環境経営活動計画　5
６．環境経営目標と実績　7
７．取組評価と次年度取組　8
８．環境経営活動の取組記録　１０
９．環境法規の遵守状況と関連事項　１６
（１）環境法規の遵守状況
（２）環境法規等違反による訴訟の有無
（３）環境法則に関連した苦情・要望等の有無
１０．代表者による全体評価と見直し結果　１７

１． 環境経営方針

【基本理念】

エミヤグループは、電気設備資材の卸売業、建設業、そして介護環境提供業として、照明器具をはじめとする電気設備機器・住宅設備機器を提供してまいりました。これらの事業活動は、オフィスビル・公共施設・住宅などの建築物や道路・通信網などの社会基盤整備へと直結しており、資源やエネルギー消費に及ぼす影響は多大です。従って、環境負荷低減への取り組みが当社の果たすべき社会的責任と認識し、継続的な環境負荷の軽減に努め、社会に貢献します。

【行動方針】

１．事業活動を環境側面から見直し以下を重点項目として実施します。
（１）業務のミス・ロス、クレームを削減して資源とエネルギーのムダを排除します。
（２）省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー機器、省資源対応の設備機器を提案販売することにより、低環境負荷社会の構築に貢献します。
（３）３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、産業廃棄物の削減を行います。

２．環境マネジメントシステムを確立し、定期的に見直しを実施し、継続的な改善を行います。

３．事業活動を行うにあたって、関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を厳守します。

４．全員参加による環境保全活動を実施します。

制定　２００８年１２月２２日
改定　２０１２年　４月１１日
改定　２０１９年　５月２７日
改定　２０２０年　６月　３日

未来環境を語る・造る
EMIYAグループ

株式会社エミヤホールディングス
代表取締役　三神　司

２．事業活動の概要

【１】事業所名　及び　代表者

会 社 名　株式会社エミヤホールディングス
代表者名　代表取締役社長　三神　司
所 在 地　〒003-0030
　　　　　北海道札幌市白石区流通センター７丁目８番１号
ＵＲＬ　https://www.emiya.com/

【２】環境管理責任者　及び　担当者

環境管理責任者　村井　弘幸
事務局責任者　埴田　奈津子

【３】事業内容（認証・登録の範囲）

電気工事材料及び建築資材の販売、家庭用電気製品・電気通信機器空調機器の販売、暖房機器・昇降機器・衛生・給排水設備機器の販売、太陽光発電施工、介護用品のレンタル及び販売、介護リフォーム、リハビリ型ディサービス、住宅リフォーム

【４】事業規模

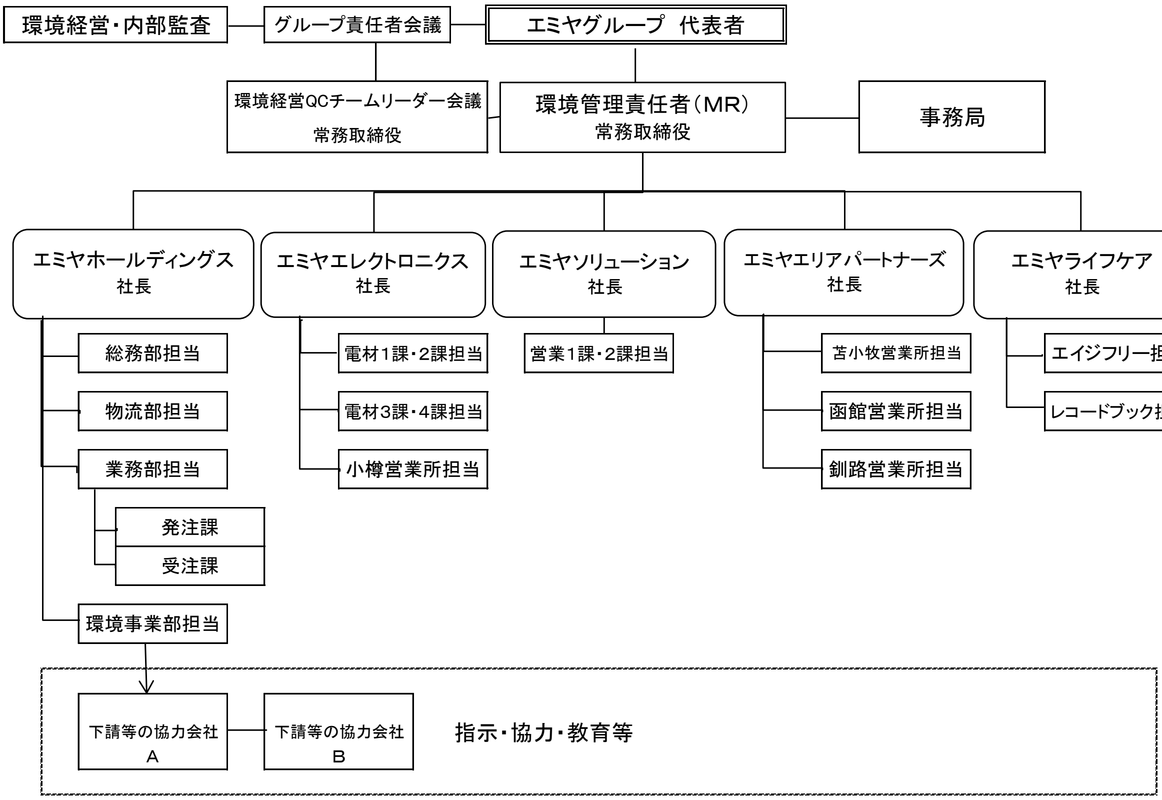
活動規模　２０２１年度　（２０２１年４月～２０２２年３月）
売上高　１００億５７百万円（簡易連結）
従業員　１４２名
床面積　１２，３０３．３５㎡
年間工事件数　４０件

【５】認証・登録対象事業所

㈱エミヤホールディングス本社	〒003-0030	札幌市白石区流通センター７丁目８番１号
エミヤエレクトロニクス㈱		
本社	〒003-0030	札幌市白石区流通センター７丁目８番１号
小樽営業所	〒047-0013	小樽市奥沢２丁目９番１号
エミヤソリューション㈱	〒003-0030	札幌市白石区流通センター７丁目８番１号
エミヤエリアパートナーズ㈱		
釧路営業所	〒085-0003	釧路市川北町４番１７号
苫小牧営業所	〒053-0006	苫小牧市新中野町３丁目６番１１号
函館営業所	〒041-0824	函館市西桔梗町５８９－４９
エミヤライフケア㈱		
ﾊﾟﾅｿﾆｯｸｴｲｼﾞﾌﾘｰｼｮｯﾌﾟ白石	〒003-0030	札幌市白石区流通センター７丁目８番１号
レコードブック厚別	〒004-0063	札幌市厚別区厚別西３条１丁目４番１７号

※２０２２年７月１日レコードブック札幌東運営開始予定。
　２０２４年３月２１日より取組を開始します。

３． 実施体制



構成要素	役割、責任及び権限
代表者	≪社長　三神司≫グループ会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、 人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境経営方針の作成 3. 環境管理責任者の任命 4. 全体の評価と見直しの実施 5. 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者(MR)	≪常務　村井弘幸≫ 1. EA21に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者（社長）への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 4. 環境経営活動レポートの作成責任
事務局	≪総務課　埴田奈津子≫ 1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理
環境経営・内部監査	《グループ責任者会議》 1. 環境経営QCサークル活動の報告 2. 内部監査チェックリストによるチェック
各担当責任者	1. EA21環境マネジメントシステムの運用実施。
下請等の協力会社	省エネへの取り組み、廃棄物の分別など環境活動への参加に協力を求める。

４． 中期環境経営目標

項　目	単位	今年度 76期目標 （2021年）	１年後 77期目標 （2022年）	２年後 78期目標 （2023年）	３年後 79期目標 （2024年）
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.549/0.393 （kg-CO2/Kwh）	Kg-CO2	前年比▲1% 317,223	前年比▲1% 314,051	前年比▲1% 310,910	前年比▲1% 307,801
電力使用量　※1	kwH	前年比▲1% 190,702	前年比▲1% 188,795	前年比▲1% 186,907	前年比▲1% 185,038
都市ガス（札幌）	㎥	前年比▲1% 7,583	前年比▲1% 7,507	前年比▲1% 7,432	前年比▲1% 7,358
液化石油ガス使用量（小樽）	㎥	前年比▲1% 7.3	前年比▲1% 7.2	前年比▲1% 7.1	前年比▲1% 7.0
灯油使用量　※2	L	前年比▲1% 2,894	前年比▲1% 2,865	前年比▲1% 2,836	前年比▲1% 2,808
ガソリン・軽油使用量 （１台当たり）	（L）/台	前年比▲1% 1,636	前年比▲1% 1,620	前年比▲1% 1,604	前年比▲1% 1,588
燃費（１台当たり平均） ※3	km/L	前年比+1% 12.05	-	-	-
一般廃棄物排出量	㎥	前年比▲1% 53.58	前年比▲1% 53.04	前年比▲1% 52.51	前年比▲1% 51.98
水使用量	㎥	前年比▲1% 1,181	前年比▲1% 1,169	前年比▲1% 1,157	前年比▲1% 1,145
環境配慮商品の販売					
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	①649 件 ②379 件	各部署設定の合計	各部署設定の合計	各部署設定の合計
ミス・ロス削減による環境負荷低減		「自工程完結」管理思考により、ミスを最小化する。	新年度方針にて決定	新年度方針にて決定	新年度方針にて決定
石膏ボードリサイクル 100%	%	100%	100%	100%	100%
環境に関わるリフォーム提案	件	45 件	50 件	55 件	60 件
化学物質使用量（塗料）	－	化学物質の使用量は少量の為目標設定はしないが、適正に管理する。（納品数と使用数の差異を確認）			

※1　北海道電力（札幌・小樽・ＲＢ）　／ イーネットワークシステムズ（釧路・苫小牧・函館）
※2　釧路・苫小牧・小樽（札幌・函館は倉庫のみ）
※3　燃費のデータが取れなくなった為、７６期で終了。

５．環境経営活動計画

二酸化炭素排出量の削減

項目	活動内容	
電気使用量	昼休み・退社時・使用していない場所の消灯	通年
	事務所蛍光灯の照度調節	通年
	不要箇所の光源取り外し	通年
	事務所照明のＬＥＤ化	通年
	融雪電力の節電	冬期 （7～11 月除く）
	天井ヒーターのこまめな切替	冬期 （7～11 月除く）
	トイレ便座のフタを閉める	通年
	トイレ便座ヒーター夏場（6～9 月）ＯＦＦ	夏期（6～9 月）
	トイレ主電源、帰宅時ＯＦＦ	通年
	トイレパネルヒーター・トイレジェットタオル禁止	通年
	使用しないパソコンの電源ＯＦＦ	通年
	待機電力カット	通年
	電気ヒーターのこまめなＯＦＦ	冬期（12～3 月）
	夏場・不要時の電気ポット使用削減	夏期（6～9 月）
	コピー・ＦＡＸ複合機を節電モードに保つ	通年
	電気温水器の温度調節 夏場ＯＦＦ（6～9 月）・冬場 40℃（10～5 月）	通年
	冷蔵庫にカーテンをつける	通年
ガス使用量 灯油使用量	冷暖房の温度設定 夏場 28℃（6～9 月）・冬場 23℃（10～5 月）	通年
	使用しない場所は冷暖房を止める	通年
	エアコンフィルターのこまめな清掃	通年
	シーリングファン・サーキュレーターで空気を循環し、エアコンの使用量を抑える。	通年
ガソリン・軽油使用量	テレマティクス導入	通年
	日報管理（走行距離）	通年
	暖機運転は最小限にする	冬期（12～3 月）

一般廃棄物排出量の削減

項目	活動内容	
ゴミの分別	古紙類・空缶・ペットボトル・産廃に分別	通年
	リングプルリサイクル運動	通年
	ミスコピー・ミスプリントは裏面を利用する	通年
	両面コピーを使用する	通年
	図面・見積は、メールでやり取りをする	通年
	マイ箸の推進	通年

水使用量の削減		
項目	活動内容	
水使用量	食器洗いや手洗いの際、水を出したままにしない	通年
	洗濯の際の水位調節	通年
	蛇口をシャワーへ替える	通年
環境配慮商品の購入・販売		
項目	活動内容	
環境配慮商品の購入	トイレットペーパーはシングル巻きであること。 芯なしトイレットペーパーの使用。	通年
	文房具はリサイクル材を多く使用していること	通年
	窓付封筒のエコ化	通年
環境配慮商品の販売	省エネ・省資源等の商品の販売・ＰＲを推進 環境配慮商品の販売	通年
そ　の　他		
項目	活動内容	
ミス･ロスの削減による環境負荷低減	「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。	通年
石膏ボードリサイクル	石膏ボードリサイクル 100%。分別の徹底。	通年
環境に関わるリフォーム提案	環境負荷低減に関わる提案	通年
化学物質使用（排出）量の削減		
項目	活動内容	
化学物質使用量（塗料）	化学物質の使用量は少量の為目標設定はしないが、適正に管理する。（納品数と使用数の差異を確認）	通年

６．環境経営目標と実績

当社における環境目標と実績は下記の通りです。（2021 年度　2021 年 3 月 21 日～2022 年 3 月 20 日）

76 期より 2020 年度北海道電力の排出係数 0.549・ｲｰﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑｽﾞ 0.393 を使用。

項　目	単位	75期実績（2020年）	76期目標数値	76期実績（2021年）		結果
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.549/0.393（kg-CO2/Kwh）	Kg-CO2	320,427.3	前年比 ▲1%	300,965.1	▲6.1%	○
電力使用量　※1	kwH	192,628	前年比 ▲1%	187,602	▲2.6%	○
都市ガス（札幌）	㎥	7,660	前年比 ▲1%	7,320	▲4.4%	○
液化石油ガス使用量（小樽）	㎥	7.4	前年比 ▲1%	6.9	▲6.8%	○
灯油使用量　※2	L	2,923.2	前年比 ▲1%	3,487.4	+19.3%	×
ガソリン・軽油使用量 （１台当たり累計）	（L）/台	1,653.1	前年比 ▲1%	1,754.6	+6.1%	×
燃費（１台当たり平均）	㎞/（L）	11.93	前年比 +1%	12.02	+0.8%	▲
産業廃棄物排出量	kg	87,496	-	112,622	+28.7	×
一般廃棄物排出量	㎥	54.12	前年比 ▲1%	46.08	▲14.9%	○
水使用量	㎥	1,193	前年比 ▲1%	1,170	▲1.9%	○
環境配慮商品の販売						
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	①453 件 ②273 件	①649 件 ②379 件	①446 件 ②232 件	①68.7% ②61.2%	×
ミス・ロス削減による環境負荷低減	コミュニケーションを図り、チーム力を上げる。		「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。	3 ヶ年計画が曖昧、ミス・ロス報告が 100%されていないなどの課題。		▲
石膏ボードリサイクル 100%	%	100%	100%	100%	100%	○
環境に関わるリフォーム提案	件	38 件	45 件	61 件	+16 件	○
化学物質使用量（塗料）	使用量が少なくデータは取っていないが、適正に管理。		適正に管理（納品数と使用数の差異を確認）	100%実施		○

※1　一部、ｲｰﾈｯﾄﾜｰｸｼｽﾃﾑｽﾞへ変更（75 期 2 月より釧路・3 月より苫小牧・函館）

※2　釧路・苫小牧・小樽（札幌・函館は倉庫のみ）

７．取組評価と次年度取組

評　価	次年度の取組
◆電力使用量の削減　目標達成【▲２．６%】 札幌は２．７%削減で目標達成。しかし、事務所照明だけを比較すると１．５%ＵＰしている。残業は減少しているが、会議室の利用が増えたことで、照明・換気扇・空気清浄機をフルに活用していることが要因かもしれない。更に換気扇の消し忘れが５件発生し、無駄な使用も見られた。釧路・苫小牧も目標達成。釧路は積雪が少なく、凍結防止ヒーターの使用が減った。函館・小樽・ＲＢは目標未達成。小樽はトイレ凍結防止の為に土日ヒーターをつけっぱなしにしていた。ＲＢは除湿器を２台購入。更に利用者様から足元が冷えるというお声が多くヒーターを２台購入。また、人員の減少で残業時間が増えてしまった。	前年１%削減。 グループ全体としては、当たり前のルールの継続。消し忘れをなくし、使用していない場所の消灯を行うこと。使用していない電子機器の電源ＯＦＦを心がける。更に残業削減に取り組み、使用量を抑える。
◆ガス使用量の削減　札幌：目標達成【▲４．４%】 小樽：目標達成【▲６．８%】 札幌・小樽ともに目標達成。札幌は２０数年振りの猛暑により７月から大幅ＵＰしたが、逆に１～３月は大雪のせいか気温は高く、年間を通しての使用量は抑えられた。設定温度に関しては、夏場は冷やし過ぎないように呼び掛けを継続。小樽はなるべく最低温度で使用した結果、削減できた。	前年１%削減。 札幌は夏場、必要以上に事務所を冷やしすぎないように定期的に事務局から通知を行う。更に、エアコンフィルターの清掃を引き続き行う。会議室使用後のエアコン消し忘れチェックを継続。残業削減に取り組み、使用量を抑える。
◆灯油使用量の削減　目標未達成【+１９．３%】 釧路のみ目標達成。冬期暖かかったことと、こまめな温度調整が削減につながった。札幌は４年振りに倉庫で灯油使用発生。苫小牧・小樽は目標未達成。小樽は冬期も換気をしたので、その分、使用量が増加した。	前年１%削減。 気温に左右されるが、設定温度を守り実行する。ウォームビズの励行。暖気が逃げないように戸の開けっ放しにも注意を払う。
◆ガソリン・軽油使用量の削減（１台当りの使用量） 目標未達成【+６．１%】 札幌とＲＢで目標達成。札幌は台数が増え給油していない車が数台あり、平均値が下がった。１～２月の大雪で営業ができなかったことも要因。ＲＢは、送迎車が３台に増えたことで送迎ルートを最適化することが出来た。更にコロナ禍の影響で居宅への訪問や担当者会議開催が難しくなり、使用率が減少した。釧路・苫小牧・函館・小樽は目標未達成。昨年はコロナ禍で営業自粛があり一旦減少したが、今期はコロナ前に戻りつつあった。現場配達、新規開拓が増えたこと、ミスによる再配達の多さも要因のひとつ。	前年１%削減。 ミス・ロスによる緊急配達・誤配達を減らす。まとめ配送を行う。今後も、効率良いルートで営業する。
◆燃費（１台当りの平均）目標未達成【+０．８%】 函館のみ目標達成。安全運転・タイヤの空気圧等、各自意識をして燃費向上に繋げた。他はすべて目標未達成。釧路は地方営業でのアイドリング、ＲＢは、大雪による大渋滞で送迎時間が長くなってしまったのが要因。	目標設定なし。 急発進・急ブレーキ、無駄なアイドリングを減らす。また、荷台チェック・空気圧チェックを定期的に行い、燃費を向上させる。
◆産業廃棄物排出量の削減　目標設定なし 目標は設定しないが、適正に分別し、正しい処理を行う。	引き続き、適正な処理を行う。

評　価	次年度の取組
◆一般廃棄物排出量の削減　目標達成【▲１４．９%】 札幌・苫小牧・小樽は目標達成。釧路と函館は前期と同じ数値。全社で分別の意識が定着してきている結果だと思うが、釧路では新しい社員の間違った分別や、ルーズになってきている社員もいる。函館では可燃ゴミは減ったがプラゴミが増加した。ＲＢは未達成。前期より利用回数が 1275 回増加しており、紙コップやペーパータオル等のゴミが増加している。	前年１%削減。 個々のゴミ分別の意識向上と、廃棄の際は細かくして容積を減らすこと。問題があれば事務局から注意する。また、増えた場合の原因追究を行い、改善する。 新入社員・中途社員には、ＱＣ活動を通して指導すること。
水使用量の削減　目標達成【▲１．９%】 札幌・釧路・苫小牧で目標達成。昨年はコロナ禍によるこまめな手洗いが要因で一気に増加したが、昨年よりは抑えられた。函館・小樽・ＲＢは未達成。函館は、営業のデスクワークが増えたため。ＲＢは利用回数の増加に伴い、手洗い・うがい・洗い物の回数が増えた。	前年１%削減。 細かな日常生活での節水を継続。手洗い・食器洗い・洗濯の際の水位調節や、拭き掃除・窓掃除などで使用する水も調整しながら行う。 新入社員・中途社員にはルールを周知すること。
◆環境配慮商品の販売 省エネ提案件数 提案件数４４６件　目標未達成【６８．７%】 受注件数２３２件　目標未達成【６１．２%】	省エネ提案をグループ責任者会議の定例議題とし、共通認識を持ち「省エネを極める」 全社で提案件数４３２件・受注件数２４５件を目標とする。
◆ミス・ロス削減による環境負荷低減 ３ヶ年計画が曖昧、ミス・ロス報告が１００%されていないなどの課題が残った。	引き続き「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。 各チームの自工程の見直しを行う。
◆石膏ボードリサイクル１００% 環境に配慮し、１００%リサイクルできるものを使用。 分別を徹底し、適正に処理を行った。	引き続き１００%とする。
◆環境に関わるリフォーム提案 実績６１件　目標達成【+１６件】	目標５０件。
◆化学物質使用量（塗料） 使用量が少なく、データは取っていないが、適正に管理している。（納品数と使用数の差異を確認）	引き続き適正な管理を行う （納品数と使用数の差異を確認）

８． 環境経営活動の取組記録

◆環境経営方針

環境経営方針の社内提示

2019 年 10 年継続記念

◆二酸化炭素排出量の削減

トイレジェットタオルの禁止

トイレ便座のフタを閉める

テレマティクスサービスで
社用車走行管理

事務所・倉庫照明のＬＥＤ化
※釧路・苫小牧・函館・小樽
※札幌は一部（会議室・会長室・応接間・倉庫）

照明スイッチに担当者をつけて管理
（左：札幌）・（右：釧路）

エアコンスイッチにエリア担当者
をつけて管理（札幌）

設定温度を貼って管理
（苫小牧）

シーリングファンを取り付け、
室内の温度を一定に保っています（札幌）

部署ごとにエアコンフィルターの
清掃を定期的に行っています（札幌）

（小樽）

（レコードブック）

◆一般廃棄物排出量の削減

裏紙の再利用

古紙の分別（古紙は専門業者へ）
部署ごとに配置

産廃の分別

◆水使用量の削減

節水表示
蛇口をシャワーへ変換

節水表示
トイレタンク（大・小の使い分け）

◆環境活動

定期的に事務所周りの雑草刈り
ゴミ拾いを行っています（札幌）

※釧路・小樽も定期的に行っています

（苫小牧）

年に一度、窓掃除を行っています
（苫小牧）

半年に一度、窓掃除を行っています
（レコードブック）

古紙回収 1,645 kgに対し、
苫小牧上質古紙リサイクル協同組合
より、１６ロール×1 ケース配布し
ていただきました（苫小牧）

駐車場の横にひまわりを植えて
景観を良くしています（釧路）

◆地震想定防災訓練　※対応手順に基づき、年１回実施しています。

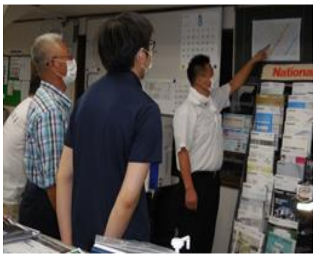
8/11 札幌　地震想定防災訓練（避難・備品確認・消火）

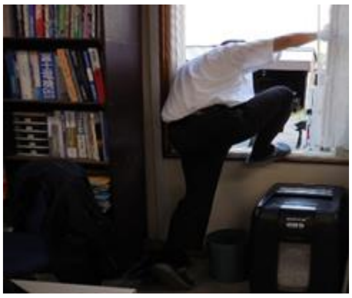
8/11 苫小牧
（火災通報手順・消火器位置確認）

8/11 釧路　（避難・消火器訓練）

8/6 函館　（避難・消火器訓練）

8/6 小樽　（避難経路確認・窓からの避難）





6/7 レコードブック　地震想定防災訓練（利用者様がいる仮定での避難・消火器の使い方）
※写真は昨年の様子

緊急地震速報が鳴り利用者様がいると仮定した対応行動中

避難行動を行い、安全な場所での利用者様の体調・バイタルの確認中

消火器の使い方確認中

◆教育訓練　※エコアクション２１を環境経営ＱＣ活動に取り入れています

①４月グループ方針全社大会で前期の反省と代表５チームの発表。７６期方針発表。
②部署ごとに月１回のＱＣチーム会議
③１０月確認会議にて上期活動総評

４月ＱＣチーム発表の様子

部署ごとのＱＣチーム会議の様子

毎月活動内容を
メールで報告

事務局よりメールで情報発信。
社員とのコミュニケーションを図ります。

◆オール電化・太陽光・ＬＥＤ照明のご提案

最高の技術をお客様にご提供します
※当社ＨＰより

◆太陽光の設置（札幌）

７６期　年間総発電量　5,820Ｋｗｈ　→　3,195.2 kg-CO2 削減

札幌で設置している太陽光

９．環境法規の遵守状況と関連事項

（１）環境法規の遵守状況

環境法規の適用の有無に関しては、法規、条例を調査し、当社の事業活動の範囲から関連法則を抽出している。当社の事業活動に該当または関連している法律は、条例については、その規格の内容と要求事項並びに当社が実施すべき活動内容を記載した登録簿を作成し、これに基づいて当社の環境活動を実施している。
環境法規について違反はなかった。

（２）環境法規等違反による訴訟の有無

環境法律等違反による顧客・地域からの訴訟は現在まで発生していない。

（３）環境法則に関連した苦情・要望等の有無

適用法規制	当社の対応	遵守状況
火災予防条例	適正に維持管理 取扱責任者の掲示板	遵守確認済み
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管には囲いと掲示板を設ける 運搬収集許可の更新 管理票の保管と札幌市への報告	遵守確認済み
道路運送車両の保安基準	構造、騒音の大きさ等に関し基準に適合 ばい煙、悪臭のあるガス又は有害なガスを多量に発散しないもの	遵守確認済み
家電リサイクル法	【特定家庭用機器】 小売店へ料金を支払い、引渡す。 又は自治体指定の方法で引取依頼する。	遵守確認済み
フロン排出抑制法	３ヶ月ごとの定期点検 年に一度の業者による定期点検	遵守確認済み

１０．代表者による全体評価と見直し結果

２０２２年度環境活動計画について

●基本的な考え方。全社ＳＤＧｓへの取り組みを行うにあたって、ＳＤＧｓの環境系目標をエコアクション２１にて実施・管理することとする。
●実施体制については、環境マネジメントマニュアルの通り設置し、活動を推進する。
●各項目を継続し、１%削減を目標とする。※コピー用紙は５%削減。
●７７期もＱＣサークル活動により具体的推進を図る
（１）ミス・ロス削減活動
　ＰＤＣＡを回転させ「自工程完結」管理思考を採用し、ミスを最小化する。
（２）環境配慮商品提案販売
（３）二酸化炭素排出量削減
（４）一般廃棄物排出量削減
（５）水使用量削減
（６）コピー用紙使用量削減（ＳＤＧｓとの融合により、新たに目標を定め取り組む）
（７）２Ｓ（整理整頓）
（８）「活動管理板」
（９）部署の独自項目
●年に２回の全社員会議に機会を設け事例発表と水平展開を行う。
●環境経営・ＱＣ活動の方針確認をグループ責任者会議の定番議題とし、管理する。
●環境製品の提案・販売について、省エネ提案件数と受注件数を目標に取り入れる。
　省エネ提案件数４３２件 ／ 受注件数２４５件
　その他環境製品の提案販売に注力する。